

物流センター、自動化導入の分岐点！

～業務改善・システム改善・自動化判断の進め方～

人手不足は荷役や流通加工の現場を中心に深刻な状況で、物流センターでは常に業務改善やシステム導入により生産性向上を図っています。そして、昨今は自動化が謳われていますが、流通形態も大きく変化しており、固定設備投資は慎重に進めなければなりません。状況下、本講座では、業務改善/システム改善/自動化をキーワードに、効果的な物流改善とシステムの構築方法、将来変動を見据えた物流設備投資の考え方を解説します。

皆様のご参加をお待ちしています。

日程・場所

・2019年3月19日(火) 13:00～17:30

(受付 12:30～)

・日本通運本社ビル 3階 会議室ABC
東京都港区東新橋1-9-3

◆是非、ご参加ください◆

・物流センターの業務改善 / システム化 / 自動化
を検討中の方

・本テーマにご関心をお持ちの方

参加料金

・22,000円(税込)

定員50名(最少開催人数20名)

- ・定員になり次第、受付を締め切らせていただきます。
- ・参加料金は開催日前日までにお振込みください。
- ・振込み手数料はお客様ご負担とさせていただきます。

◆キャンセル規定◆

キャンセルの場合は、3月12日18時までに事務局にご連絡下さい。それ以降のキャンセルは下記キャンセル料を申し受けます。

・3月13日～17日 : 参加料の30%

・3月18日・19日 : 参加料の全額

お申込みは弊社Webサイトから

www.nittsu-soken.co.jp/training/seminar

弊社Webサイトからエントリーを行ってください。
エントリー受付後、セミナーの参加証、および請求書を郵送いたします。

■ オリエンテーション	13:00 ~ 13:05
1、物流センターのおかれる現状と課題	13:05 ~ 13:40
□ 物流センターに要求される機能の変遷	
□ BtoC時代の物流戦略に対応するセンター運営	
□ 物流センター自動化の現状	
2、物流センター業務の効率化 ～改善の基本～	13:40 ~ 14:15
□ 物流センター運営の基礎	
□ 改善をサポートするツールの活用 ～5Sから課題整理術まで～	
□ 作業の標準化と現場力	
3、物流センター業務の効率化 ～情報システム編～	14:30 ~ 15:45
□ 生産性向上のための「見える化」とは	
□ QCDを実現する物流情報システム	
□ 物流波動に対応する自動化と人の作業の分岐点	
4、費用対効果を最大化するソリューションの選択	16:00 ~ 17:05
□ 物流センターにおける設備費用対効果(ROI)の考え方	
□ PDCAによる自動化効率化の検証	
□ 業務改善・システム改善・自動化による改善の見極め	
■ 質疑応答	17:05 ~ 17:30

※カリキュラム、時間は変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

講師プロフィール



實藤 政子(さねふじ まさこ)

サトーソリューションアーキテクト(株) コンサルティングパートナー

九州大学法学部法卒。物流センター立ち上げ支援、WMSのシステム開発および物流改善を中心に活動を行っている。3PL、冷凍倉庫業者、食品製造・卸売業、アパレル業者など、約120センターのコンサルティング・センター構築の実績を持つ。(社)日本ロジスティクスシステム協会認定「ロジスティクス経営士」。著書に、「WMS導入と運用のための99の極意」(2008年第1版、2017年第2版)、「物流センターの改善の進め方がよくわかる本(2017/01/15出版)共に秀和システム、などがある。

日通総合研究所のプロフィール



1961年(昭和36年)創立の物流・ロジスティクスに関わる総合シンクタンク。高い専門性、豊富な経験、独自のノウハウで、物流・ロジスティクスに関する研究、調査、コンサルテーションを行っている。また、近年は、物流・ロジスティクスに関わる人材の育成・教育事業に力を入れている。

株式会社 日通総合研究所

〒105-8322 東京都港区東新橋1-9-3
TEL:03-6251-3279 FAX:03-6251-6450

事務局担当: 山内